

激動の150年と まちのこれから。

交通の要衝として
長い歴史を刻んできた長万部。
地方創生への取り組みと逸品ミニトマトの誕生、
至上のホタテ貝「湾宝」のブランド化、
そして、7年後に控えた
北海道新幹線長万部駅の開業と次代のまちづくり。
まちには、いま新たなムーブメントが
生まれようとしている。
これまでの歩みを振り返り
未来に向かう町の挑戦と躍動を追ってみよう。



長万部町民憲章

昭和48年8月29日制定

わたくしたちは、朝に夕に内浦の潮さいを聞き道南の交通の
かなめとして歴史をくりひろげてきた長万部の町民です。
わたくしたちは、この町の町民であることに誇りを持ち、
生きがいのあるまちづくりをねがい町民憲章をさだめます。

一、ちからを合わせ心あたたかなまちをつくろう
すこやかなところとからだをはぐくみ
すべてのひとに親切といたわりを

一、ちからを合わせくらし豊かなまちをつくろう
しごとをくふうし、技術をたかめ
むだをはぶいて、よりよい生活を

一、ちからを合わせ規律あるまちをつくろう
きまりをまもり、事故をなくし
公共の施設をたいせつに

一、ちからを合わせ環境のきれいなまちをつくろう
自然をまもり育て、公害をふせぎ
いつも身のまわりから清けつに

一、ちからを合わせ文化の高いまちをつくろう
よい伝統を受けつぎ学芸にしたしみ
みずから学ぶ努力を



INDEX

ごあいさつ

HISTORY OF OSHAMAMBE 長万部町の軌跡	04
交通 交通の要衝としての150年、そしてこれから。	12
湾宝 長万部発ホタテ貝ブランド「湾宝」に込めた想い。	18
シャクシャインロード事業 13市町が協力、シャクシャインを顕彰する慰霊旗リレー。	20
地方創生 地方創生で、長万部ブランドを発信する。	22
東京理科大学長万部キャンパス 多様な連携・協力を築いた歴史と国際デザイン経営学科の発進。	24
災害と防災の歴史 長万部を襲った災害を振り返る。	26
子ども・子育て支援 子ども・子育て支援が、次代の長万部を築く。	28
学校教育 長万部の学校、今昔をたどる。	30
地域おこし協力隊 地域おこし協力隊がまちを活性化させる。	36
まつり まちを元気にするまつり。	38
記憶の物語 寄稿・櫻田智也	40
資料編	42

ごあいさつ



明治6年に副戸長が設置されたことを一つの礎として150年。昭和18年に町制が始まってから80年を迎えました。

この間、幾多の困難を乗り越えてきた先人たちの努力と、今を生きた私たちの努力の積み重ねにより、記念すべき年を迎えることができました。

さて、世界中に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も5月に5類感染症に移行し、長万部町でも4年ぶりとなる東京理科大生の来町や、色々な催しが復活するなど、徐々に賑わいを取り戻しているところでもあります。この間、多くのことを学ばせてもらいました。その中でも一番大きいのは「人」であります。医療現場を支えた「人」、物流を止めなかった「人」、感染者の生活を支えた「人」など、改めて「まちづくり」は「ひとづくり」であることを実感したところがあります。

平成から令和に変わり、時代も大きな転換期を迎えています。人口減少・少子高齢化、カーボンニュートラルやAIの実用化等、一昔前では考えられないようなことが起こっています。

私たちは激動する社会に対応できるように、引き続き努力を重ねて参ります。

2030年度には北海道新幹線が全線開業します。長万部町も現在、関連工事が進み、新幹線の足音が大きくなってきたことを実感しているところでもあります。引き続き町民の皆様の見解を伺いながら、準備を進めて参ります。

当町の悲願である北海道新幹線長万部駅開業も時代の区切りではありませんが、ゴールではなく、開業後もまちづくりの歩みを止めることなく、第4次まちづくり総合計画のキャッチフレーズである「ひらけ！つなげ！おしゃまんべ！！」みんな楽しんで未来へ」の実現に向け、皆様と手を取り合いながら、10年後、20年後、またその先の未来の長万部町に、子どもたちの笑顔が弾け、町民の皆様のいきいきとした姿を想像し、町政の舵取りを担います。

長万部町の歴史を振り返るとき、本誌が皆様のお役にたてることを祈念して、発刊にあたってのご挨拶いたします。

長万部町長 木幡正志